

日本遺産ストーリー

多くの古墳があることで、女狭穂塚古墳に埋葬されているとされる木花咲耶姫の話を始め、古墳に関わる数々の神話や伝説、祭事などが生まれました。また、生目古墳群（4世紀）→西都原古墳群・持田古墳群（5世紀）→新田原古墳群（6世紀）→蓮ヶ池横穴群（6〜7世紀）へと繁栄を極めた順に巡ると、南九州の豪族達の栄枯盛衰を感じることができ、副葬品や埴輪といった古墳からの出土品を鑑賞することで、古墳時代の生活を実感できます。このような古墳の楽しみ方ができるのは、宮崎平野の古墳群だけです。

古墳の世紀を体験する

紀元3世紀から7世紀にかけての日本列島では、土を盛り上げたお墓「古墳」を造る文化が各地で栄えました。上から見た形が鍵穴のような「前方後円墳」、丸い「円墳」、四角の「方墳」など、その数はなんと約16万基以上。当時の人々にとっての古墳とは、人物の地位や実力を大きな形で表現した、いわば記念碑（モニュメント）でもありました。そうした古墳をすべて人力で築き上げた古墳時代とは、日本の歴史上初めての「土木工事ラッシュ」の世紀だったのです。

「古墳」の世紀

日本独自の形である前方後円墳という古墳が造られた時代。宮崎平野でも西都原古墳群を始め多くの古墳が造られました。列島各地であまた造られた古墳のある景観（風景）は、時の移ろいの中で様変わりしますが、宮崎平野には繁栄した当時に近い景観が今も保たれています。古墳の姿形が損なわれることなく、古墳の周りに建築物がほとんどない景観は全国で唯です。古墳を横から、上から斜めから、いろんな形と古墳のある景観を楽しんでみませんか？

古代人のモニュメント

―台地に絵を描く―
南国宮崎の古墳景観―

構成文化財の位置図

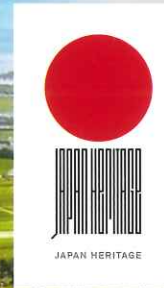


日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会

〒881-8501 宮崎県西都市聖陵町2丁目1番地

《西都市役所 商工観光課》

TEL 0983-43-3421 HP <https://miyazaki-kofun.jp/>



千年の風景に

出逢う場所、みやざき

KOFUN LANDSCAPE

天孫降臨の神話が息づく南国宮崎には、
いまでも太古の景色が広がる場所が残されている。
あまりにのどかなその風景は、
訪れる人々を日常から解放し別世界へと誘う。



日本遺産
古墳と
南国宮崎の古墳景観

〔西都市・宮崎市・新富町・高鍋町〕

日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会